

第3回「みなかみ町協働のまちづくり委員会」会議録

1.開催日時 平成21年2月4日(水) 午後1時30分～午後4時15分

2.開催場所 役場本庁6階 第3会議室

3.出席者数 18名(委員14名・事務局4名)
詳細は席次表のとおり

4.開 会

- ・事務局長より町職員委員の欠席理由を説明する。
- ・事務局が開会を宣言する。
- ・事務局が欠席委員3名の報告をする。(竹内委員、瀧澤委員、小野委員)
- ・事務局が新規加入委員の福井委員を紹介する。

5.委員長挨拶

- ・松井委員長が挨拶をする。
- ・本日は、町民憲章の本文を協議し、憲章の最終案をまとめたい。
- ・福井委員が自己紹介をする。

6.協議事項

- ・松井委員長が議長となり、以下のとおり進行する。
- ・事務局が会議資料の確認をする。

(1)第2回委員会の会議録案の確認について

会議録案のとおり、訂正なしで承認される。

(2)みなかみ町民憲章の本文の検討について(資料1)

- ・事務局が資料1に基づき説明する。
前文に目的語として「この町民憲章を」追記することで承認される。

<本文 1「恵まれた自然環境と共生しエコタウンみなかみ町をつくります」の検討について>

【委員からの意見】

- ・町では環境力を宣言しているが、当時は「水と森を育むまちづくり構想」から「エコタウンみなかみ町」としたので、修正していただきたい。
- ・議会で環境力宣言が議決されているので、それを強調すべきと思う。
- ・やわらかい文章表現で分かりやすいものがよいと思う。

・・・・・・・・次ページへ続く・・・・・・・・

- ・エコを強調するのはよいと思うが、エコタウンというの意味が伝わらないこともある。
 - ・台東区の憲章は、分かりやすいのでよいと思っている。これを参考にして、検討するもの一つの手である。その言葉を聞いて子供でも分かる表現が望ましいと思う。
 - ・「恵まれた自然環境と共生し」まではそのまま使い、エコタウンというのはいりきたりである。エコも流行言葉であると思う。誰でも理解しやすい言葉があるとよい。
 - ・「恵まれた自然環境と共生し」まではよいと思う。
 - ・「恵まれた自然環境と共生し心ゆたかなみなかみ町をつくりまします」でどうだろう。
 - ・みなかみ町民憲章なので「みなかみ」はいらぬと思う。
 - ・「恵まれた自然環境」の「環境」はいらぬと思う。「恵まれた自然と共生し心ゆたかな町をつくりまします」でどうだろう。
 - ・この地域の者ではないので、この自然の素晴らしさは地元の人には当然だと思われるがちであるが、みなかみ町の自然は本当にすばらしいと思う。「この自然に感謝するとともに」を入れたいと思うが。
 - ・「自然と共生し」に「自然に感謝する」という気持ちが含まれていると思う。自然に感謝しながら共生するというを解説で説明したらどうだろう。
 - ・「共生」という言葉は、難しいと思うがこの機会に覚えてもらおうというスタンスでよいと思う。
- 本文 1は「恵まれた自然と共生し心ゆたかな町をつくりまします」で承認される。

<本文 2「参画・協働を基本に力をあわせ住みよい幸せなみなかみ町をつくりまします」の検討について>

【委員からの意見】

- ・「参画、協働、力をあわせ」は同じような意味に思える。
- ・「協働」では分かりにくいので、「町民一人一人が力をあわせ」の方がよいのでは。
- ・「協働」という言葉は、委員会ではあたりまえのように議論しているが、一般にはまだ親しみがぬいぬいと思う。協働って何？と聞かれるとなかなか答えられない。しかし、まちづくりとして「協働」という言葉を入れた方がよいと思う。
- ・「協働」は最近よく使われ出した言葉なので、入れた方がよいと思う。
- ・「みんなで協働による住みよい町をつくりまします」でどうだろう。
- ・「協働」より「力をあわせ」の方が分かりやすくやわらかい表現になると思う。
- ・「参画・協働を基本に」の「基本」はいらぬのでは。
- ・「みんなで参画・協働による住みよい町をつくりまします」でどうだろう。
- ・五七五で子どもたちに覚えてもらえるリズムカルなものでどうだろう。「協働で住みよく元気なまちづくり」とか。福井市の憲章は、昭和39年に制定しているが色あせず、平成21年度からの実践目標を掲げている。
- ・やわらかい表現で「みんなで力をあわせ幸せな町をつくりまします」でどうだろう。
- ・「協働・参画」という言葉は、町の方針に合っていると思う。

．．．．．次ページへ続く．．．．．

- ・議論のやり方を少し変えた方がよいのでは。 1 環境力関係、 2 協働のまちづくりの関係、 3 福祉関係、 4 歴史文化教育関係というように考えて、少しはキーワードを入れた方がよいと思う。
 - ・誰もが分かるのは「みんなで力を合わせ住みよい町をつくります」で「参画・協働」の精神は全て入っていると思う。まちづくり基本条例を無視した言葉ではないと思う。
- 本文 2は「みんなで力を合わせ住みよい町をつくります」で承認される。

．．．．．午後2時35分～（10分間休憩）．．．．．

<本文 3「誰にでもおもてなしの心でふれあい安らぎのみなかみ町をつくります」の検討について>

【委員からの意見】

- ・「誰にでもおもてなしの心でふれあい安らぎの町をつくります」でどうだろう。
 - ・「誰にも」は削除し「おもてなしの心でふれあい安らぎの町をつくります」でどうだろう。
 - ・「安らぎ」は安ぼくなるので、ひらがなの「やすらぎ」でどうだろう。
 - ・「おもてなしの心」より「思いやりの心」の方がよいと思う。
 - ・「おもてなし」という言葉は、観光だけに当てはまるのではないと考えている。観光立町としてもこの言葉でもいいと思う。心の大切さも表現していると思う。
- 本文 3は「おもてなしの心でふれあいやすらぎの町をつくります」で承認される。

<本文 4「歴史を尊び未来を開き子ども達の夢・希望がかなうみなかみ町をつくります」の検討について>

【委員からの意見】

- ・今の子供たちは祖先のことをあまり気かけないで大きくなっているように思える。歴史は学ぶことができる。祖先つまりおじいちゃん、おばあちゃんから受け継いだものを大切に作る気持ちをもってもらいたい。
- ・引き継がなければならないものは、地区のことも含むので、「祖先」では偏ってしまう。祖先を使うのであれば「先人」の方がしっくりいく。しかし、地区のことまでとなると「伝統」の方がよいと思う。
- ・「歴史と文化を尊び夢と希望がかなう町をつくります」でどうだろう。どんどんやきとか地区行事も含むと思う。
- ・歴史は祖先ともいえる。子供たちだけではないという話もあるが、少子化ということもある。子どもが大きくなって町を出ていってしまうのが現状である。
- ・子どもを入れて「歴史と文化を尊び子供たちが夢と希望に満ちた町をつくります」でどうだろう。
- ・「子供たちが健やかに育つ」を入れたらどうか。

．．．．．次ページへ続く．．．．．

- ・子供だけではないと思う。
- ・文章が長いように思える。

本文 4は「歴史と文化を尊び夢と希望に満ちた町をつくります」で承認される。

・・・承認を得た本文をプリントアウトし再度検討を行う・・・

<本文 3「おもてなしの心でふれあいやすらぎの町をつくります」の再度検討について>

【委員からの意見】

- ・「おもてなしの心でふれあいやすらぎの町をつくります」は「心で」で切るのか「ふれあい」で切るのかで意味が変わってくると思う。「やすらぎ」を「にぎわい」に変えてもよいのでは。
- ・「おもてなしの心で笑顔の町をつくります」でどうだろう。
- ・「おもてなしの笑顔でやすらぎの町をつくります」でどうだろう。
- ・「にぎわいの町」の方がよいと思う。
- ・「笑顔」には、幸せ、安心、楽しい、にぎわい、明るさが含まれると思う。「おもてなしの心」の方がよい。心があれば（おもてなしの）行動に移れる。

本文 3は「おもてなしの心で笑顔あふれる町をつくります」で再度承認される。

<町民憲章の周知について>

【委員からの意見】

- ・今後、この町民憲章をどう活用していくかの方策を検討したい。小学5年生くらいに授業に組み込んでもらって委員が出向いて説明するとか。
- ・学級毎に町民憲章から実績目標をつくってもらえるとよいと思う。

(2) その他

<次回の委員会開催について>

- ・第4回委員会 平成21年3月12日(木)19:00～ 役場6階第3会議室
- ・第5回委員会 平成21年4月16日(木)19:00～
- ・開催通知は、事務局より別途通知する。

<今後の委員会の協議事項について>

- ・3地区に協議会のようなものを設立し、予算を配分し協働のまちづくりを進めていただければと考えている。
- ・情報共有の仕組みづくりを検討していきたい。以前、各委員にお願いした情報共有の問題点と解決案について、提案していない委員は、2月27日(金)までに事務局へ提出してほしい。
- ・委員から提案されている事項についても今後検討していきたい。

7. 閉 会

- ・事務局が閉会を宣言する。

第3回「みなかみ町協働のまちづくり委員会」 席次表

日時：平成21年2月4日（水）13：30～

場所：みなかみ町役場（6階）第3会議室

